

今日のプログラム 第1839回(3月8日)
 内部卓話 渡邊 政富 会員卓話

前回のプログラム 第1838回(3月1日)
 外部卓話 愛媛県浄化槽協会松山支部 係長 藤井隆教 様



【藤井隆教様卓話】愛媛県浄化槽協会は浄化槽に関わる製造・販売・工事・保守点検・清掃の4業種が会員となり浄化槽普及や啓発活動を行っている。私は浄化槽の事前指導や登録・届出の事前指導を行っている。今日は「世界の水と衛生について」生きていく上で水と衛生が大きな問題。汚水や不衛生な環境は感染症を引き起こしたり下痢などで命を落とす事も少なくない。2015年現在世界で6億6300万人が改善された水源を利用できない。また24億人が改善された衛生設備を利用できない状況。改善された水源とは外部からの汚染から十分に保護される構造を備えている水源・給水設備の事。家庭内の水道や公共の水道、水飲み場や掘削された井戸。改善された衛生設備、人間の排泄物に触れる事なく衛生的に処理できる設備を備えているトイレ、下水道や浄化槽に繋がっている水洗トイレなど。日本はトイレが当たり前にあるが海外は衛生設備が不足。改善された衛生設備を使用できる人口の割合は日本・韓国・ヨーロッパやアメリカの先進国は衛生設備を使用。特にアジア・南アジア・東アジア・東南アジア・カリブ 諸国については衛生設備が無い状況。世界では未だに3人に1人がトイレを使用出来ない。野外排泄は全ての地域で減少しているものの依然として推計9億4600万人の方が野外で排泄している。トイレが無い為に排泄物がそのまま川に流れ込み病気に繋がる。次は排水処理の歴史について、世界で最も古い下水道は4000年前の古代エジプトで作られた。当時は煉瓦などで積み上げられその後産業革命以降都市部に人々が集中して来ると、し尿の処理に困り道路や庭に投げ捨てるようになりコレラなどの伝染病が流行る。ロンドンで1855年頃から下水道工事に着手。テムズ川に流していた下水を下水道を通して市街地より下流に流す。その後1914年に微生物を用いた下水の近代的処理方法、活性汚泥法の処理場が作られる。この活性汚泥法は浄化槽や下水にも使用。汚れた水をそのまま置いておくと腐って臭う。そこに空気を入れ爆気させて攪拌する事で汚水の中の微生物が汚れた物を食べて浄化していく。古い下水道は2200年前の弥生時代の大きな集落に見る事ができる。奈良時代・平城京には網目の様な排水路が街の中に作られ安土桃山時代は大阪城の城下町に大閘下水が作られ今でも使用。ヨーロッパ式の下水道は明治17年に神田地区に作られ下水処理場は大正11年三河処理場で作られた。1930年日本で最初の活性汚泥法による処理が名古屋で始まった。昭和30年頃から下水など普及し始めるが地方ではまだ普及していない。昭和30年頃から工場等の排水により河川や湖沼などの公共用水域の水質汚濁が顕著となりそれを受けて昭和45年下水道法の改正により下水道は町の中を清潔にするだけでなく公共用水域の水質保全という重要な役割を担うようになった。汚れた水で起こした公害はイタイタイ病や水俣病がある。公害を受け政治家も1970年に水質汚濁防止法を制定。次に汚水処理人口普及率、愛媛県の汚水処理人口普及率は76.3%。全国は89.9%で愛媛県の汚水処理人口は低い状態。伊予市の下水道の普及率は50%。浄化槽は単独処理浄化槽トイレしか処理できない浄化槽と合併処理浄化槽がある。浄化槽の最少の単位は5人槽で日本の最大浄化槽は関西国際空港の38500人槽。浄化槽の特徴として処理性能が優れていて下水処理場並に汚水処理が可能。設置工事期間が短く概ね1週間程度で設置可能。個別処理の為に長い管渠が不要で地震などの災害に強い。東日本大震災における浄化槽の被災状況。環境庁が1000基程度の浄化槽の調査して、異常なしが55%、異常ありが15.8%、要修理が24%。3月の発生後に仮設住宅が沢山建ててくるが4、5月にかなり浄化槽が設置された。浄化槽の説明。右から流入して左が放流、一般的な浄化槽は初めに嫌気槽で沈殿させる。清掃はこちらの汚れをくみ取り。その次にバクテリア槽で生物分解する。微生物が汚れを分解し汚れかさを沈殿させて最後消毒して放流する。これが一般的な浄化槽。浄化槽の性能もよくなり、昔より大きさが変わって来ている。伊予市も単独から合併に設置する際に補助金を出している。浄化槽管理者の義務として浄化槽を設置すると浄化槽管理者となる。3つの義務として1.浄化槽の保守点検。2.浄化槽の清掃。3.浄化槽の法定検査が義務付けられています。以上です。ご静聴ありがとうございました。

会長報告

今日は私がいた本山永平寺のお話しをします。11月15日~2月15日までが冬安居と言って、夏は5/15~8/15が夏安居。どう違うかと言うとその3か月間は基本的に外出をしてはいけない。外出と言っても外には出て作務をする事もあるが、なるべく門から出ないで修行をしようというのが夏と冬にある。2/15が涅槃会接心が1週間あり、お釈迦様が亡くなったのを祈念して1週間座禅をする。そして20日から新しい修行僧が上山して来ます。本山に聞いてみると今は雪が1m50cm弱ぐらい積もっていて、最近としては多い方だそうです。私の頃は豪雪の時期で2m以上積もっていて、渡り廊下の屋根を越えて歩いていった覚えがある。最近雪は少なくなったそうです。1月中旬から今ぐらいで最低-15°位で、それ以上寒くなることはなく、雪もベタ雪なので電線に積もって電線が凍って切れるぐらい雪質が重いです。廊下を歩くときも裸足で歩くと沁みます。普段はスリッパを履いていますが、掃除をする時はしもやけやあかぎれになります。私は足の関節がひび割れてしまいました。あまりにも冷たいので雑巾が絞れないくらい痛いです。寒いと言うのは南国の我々にとっては厳しかったです。朝の6時位から朝のおつとめが始まるのですが冬だとそれぐらいに夜が明けて光がさして来ます。皆様も観光や修行にご興味のある方はご案内致しますので、よろしくお願致します。

委員会報告

- ・野球愛好会(武内キャプテン)
 伊予市職域大会の日付が決まりましたので報告させていただきます。4/9(日)10:30~JAとの試合となっております。よろしくお願致します。
- ・日野猛仁副幹事
 今週の日曜日3/5ですが高知市内において地区協議会が行われます。出席対象者の15名の方、よろしくお願致します。

幹事報告

- ・例会変更
 松山南RC 3/2夜間例会 18:00~三越
 松山西RC 3/7移動例会 18:30~MIAの松山
- ・到着書類
 ・回覧書類
 R-列-の友事務所 2017-18年度R-列-手帳注文書
 ガバナ事務所 インターネット 年次大会報告書
 ウェビア伊予 伊予の国通信3月号
- ・配付書類
 週報 1837回

ニコニコ箱

新・藤井(健)・藤井(祐)・林・日野(猛)・今井石田・泉・門田・窪田・見乗・向井・森・永井・西岡小田・奥島・大政・高畔・武智・武市・武内・上本渡邊

24名 24,000円

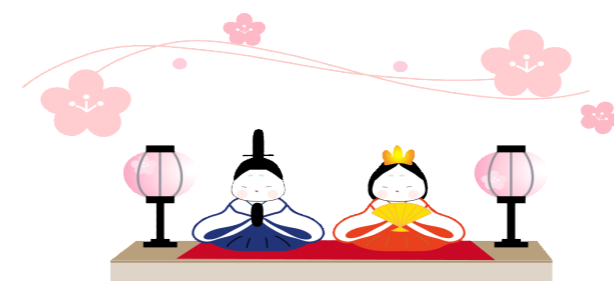
出席報告

3月1日 出席数 27名・欠席数 7名
 ビジター 0名・出席率 79.41%

2月15日 出席数 29名・欠席数 5名
 メークアップ 3名・修正出席率 94.11%

ゲスト

愛媛県浄化槽協会 松山支部
 係長 藤井 隆教 様



次回のプログラム 第1840回(3月15日)
 地区協議会報告